

農業大学校（林業・造園緑化コース）の「森林基礎実習」を実施しました

日時：令和6年5月27日（月）13:30～15:30

場所：香川県森林センター 実習室 ほか

参加者：香川県立農業大学校 担い手養成科 林業・造園緑化コース

1年生8名、2年生1名、教職員3名 計12名

指導者：森林センター林業普及指導員

4月に実施した「林業労働安全実習」で学んだ山での注意点の知識を生かして、整備されていない山林内を安全に歩く方法や、山林の動植物について学びました。また、地形図の読み方や地形図上での居場所確認にも取り組みました。



① 講義「地形図の読み方」

国土地理院発行の地図を基に、地形図の基本的な読み方を学びました。



② 実習「ハチトラップ捕獲数調査」

1か月見回りを続け、安全に調査するため実習の1週間前に回収しておきました。



③ 4月に自分が設置したトラップを切って中身を出し、スズメバチの数を数えている様子です。



④ 10カ所で設置して計178匹、最少が7匹、最多が34匹でした。差がついた理由について意見を出し合いました。



⑤ 実習「林内踏査」

林業の現場に似た道なき山中を歩き、時おり地形図で居場所を確認しました。



⑥ 道中ではヌルデなどのかぶれる植物や、毒をもつヘビのヤマカガシに出会い、特徴を学びました。



⑦ また、樹種名の復習や、大木が多いため普段目にできないクスノキの開花状況等を間近で観察しました。



⑧ 見晴らしのよい場所では、方位や山の起伏、送電線のラインなどから地形図を読む練習をしました。



⑨ 最後に藪の中を歩きました。後に続く仲間のために枝を押さえたり、声をかけるなど、思いやりのある行動が見られました。

（香川県森林センター 林業普及指導員）